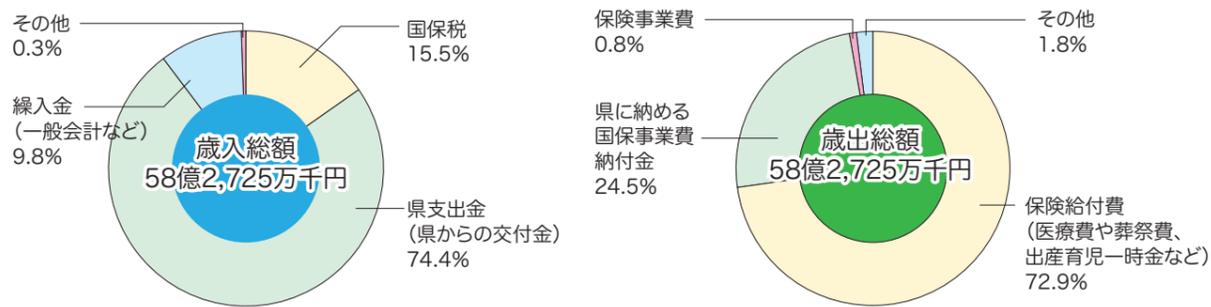


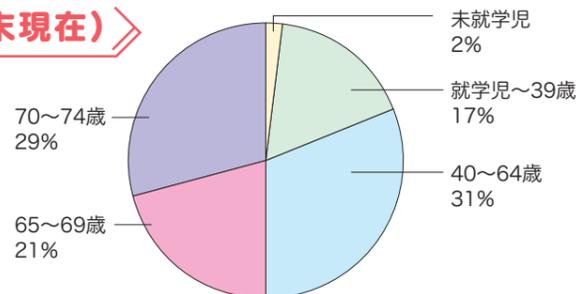
国保だより

◆令和4年度の国民健康保険(国保)特別会計の予算



◆国保の加入状況と年齢構成(R4.4月末現在)

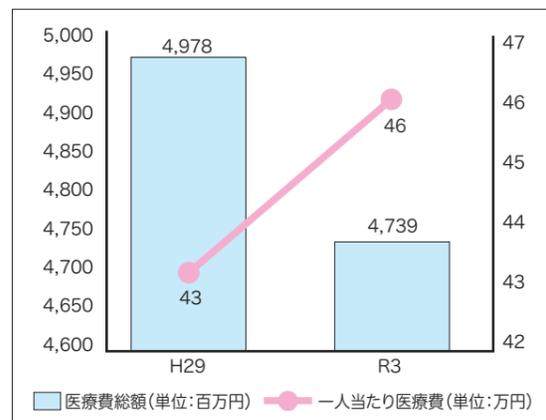
南国市では2割の方が国保に加入しており、そのうち半数以上は65歳以上の方です。
 南国市人口：46,487人
 国保加入者：9,927人



◆医療費の推移

人口減少や社会保険への加入などにより国保加入者が減っているため、医療費総額は減少しています。他方、一人当たり医療費は加入者の高齢化や医療技術の高度化などにより年々増加しています。

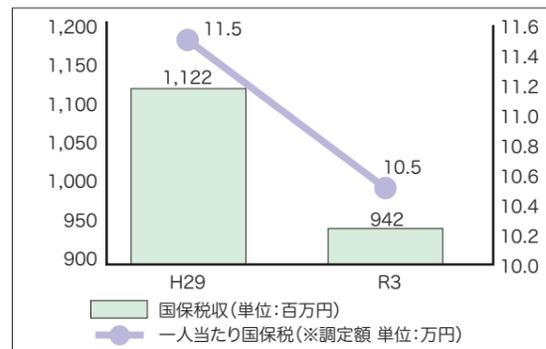
健康な身体づくりが必要だね。特定健診受けてみようかな。



◆国保税の推移

平成29、30年度に税率改定し、29年度には税収が一時的に増加しましたが、30年度から毎年減少しています。

減っちゃうねえ。国保税はちゃんと納めよう!



◆今後の国保のために

国保は、病気やけがをしたときに誰もが安心して医療を受けることができるように、加入者の皆さんが国保税を負担し、お互いに助け合う制度です。

一人当たり医療費の増加と国保税収の減少により、国保の財政運営は大変厳しい状況となっています。

国保税の納付および医療費適正化の取り組み^(※)についてご理解、ご協力をお願いします。

^(※)特定健診の実施(病気の早期発見、早期治療)、ジェネリック医薬品の使用促進などの保健事業

■問い合わせ/市民課国保係 ☎880-6555

居安思危

やすありあやおも
-安きに居て危うきを思う-

災害備蓄のススメ

みんなで生き抜くために、すぐできることから始めましょう!

南国市の基本的な考え方 最低3日分、できるだけ7日分の備蓄

「自らの身の安全は自らで守る」という防災の基本から、発災3日間分の飲料水や食料などは、家庭や地域での備え(備蓄)をお願いしています。

家庭での備蓄のポイント



ポイント1 家庭に合わせて必要になるものを備蓄

『飲料水(1人1日3L)、食料、非常用トイレ(1人1日5回分)』は必ず備蓄! 他にも、以下を参考に、アレルギー・疾患・年齢など家庭に合わせた備蓄をしておきましょう。

- 薬
- トイレトペーパー
- 生理用品
- 乾電池
- ランタン
- ラジオ
- 粉ミルク
- 紙おむつ
- おしりふき
- 介護食
- カセットコンロ など



ポイント2 簡単!すぐできる!ローリングストック

家庭での備蓄では、災害用に作られた食料や飲料水以外にも、普段の暮らしの中で使用している食品や生活用品を少し多めに購入し、使った分だけ補充する方法(ローリングストック)もあります。無駄なく、3日分以上の備蓄ができます。

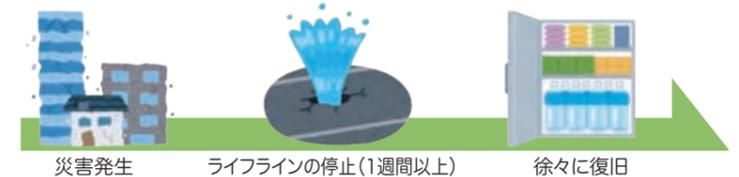


災害時の備蓄をしていますか。備蓄というと、ついつい先延ばしになってしまいがちです。

大きな災害が発生すると電気・水道・トイレなどが長期間使えなくなる恐れがあり、復旧まで1週間以上かかる場合が多くみられます。また、物資の流通も1週間以上停止し、普段のようにスーパーなどで買い物ができせん。そのため、1週間程度の食料や飲料水、生活必需品の備蓄が必要なのです。

南国市は、南海トラフ地震の想定避難所避難者数の1日分(16,000人分)を目標に備蓄していますが、これは津波や火災のために自宅を失うなどやむを得ない事情がある方に対する備蓄であるため、各家庭による個人備蓄をお願いしています。

■問い合わせ/危機管理課 ☎880-6575



「広報なんこく」6月号のおわびと訂正

3ページ防災特集「南国市防災行政無線」の電話番号に誤りがありました。おわびして訂正いたします。

誤 ☎0120-756-131 ⇒ 正 ☎0120-759-131